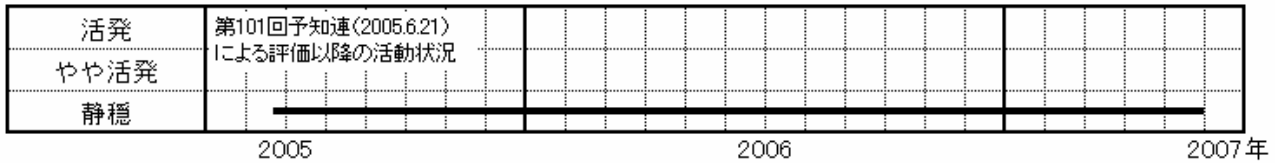


有 珠 山

○ 火山活動評価：静穏な状況

火山活動に特段の変化はなく、静穏な状況です。



○ 概況

・ 噴煙活動（図 3）

西山西麓火口群 N-B 火口の噴煙活動は静穏な状態で推移しており、噴煙の高さは概ね 100m 以下で推移しました。金比羅山火口群で認められていたごく弱い噴気は観測されませんでした。

・ 火口や噴気の状況（図 4～図 7）

22 日に北海道開発局の協力を得て上空からの観測を実施しました。また同日、室蘭地方気象台が現地調査を実施しました。西山西麓火口群および山頂火口原の噴気や地熱域の状況にこれまでと比べて特段の変化はありませんでした。

・ 地震活動（図 3、図 8、表 1）

火山性地震は 1 日あたり 0～8 回と少ない状態で推移し、地震活動は低調な状態で経過しました。火山性微動は観測されませんでした。

・ 地殻変動（図 9、図 10）

GPS 連続観測では、火山活動の高まりを示すような変動は認められませんでした。



図 1 有珠山 火山観測点配置図

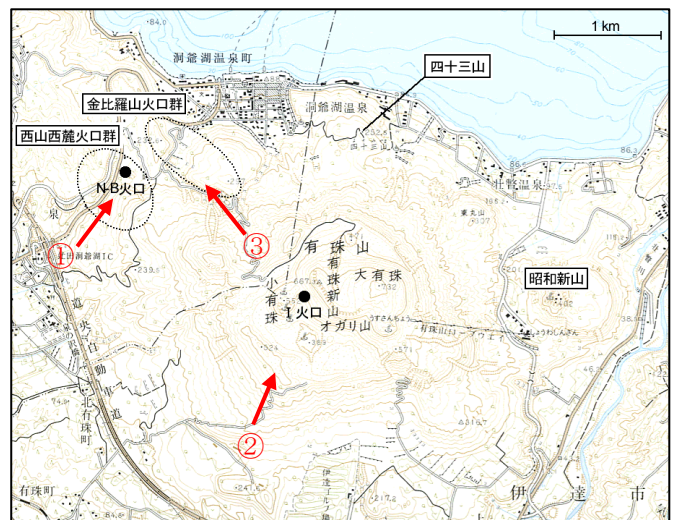


図 2 有珠山 周辺図

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50m メッシュ（標高）』を使用しています（承認番号：平 17 総使、第 503 号）。

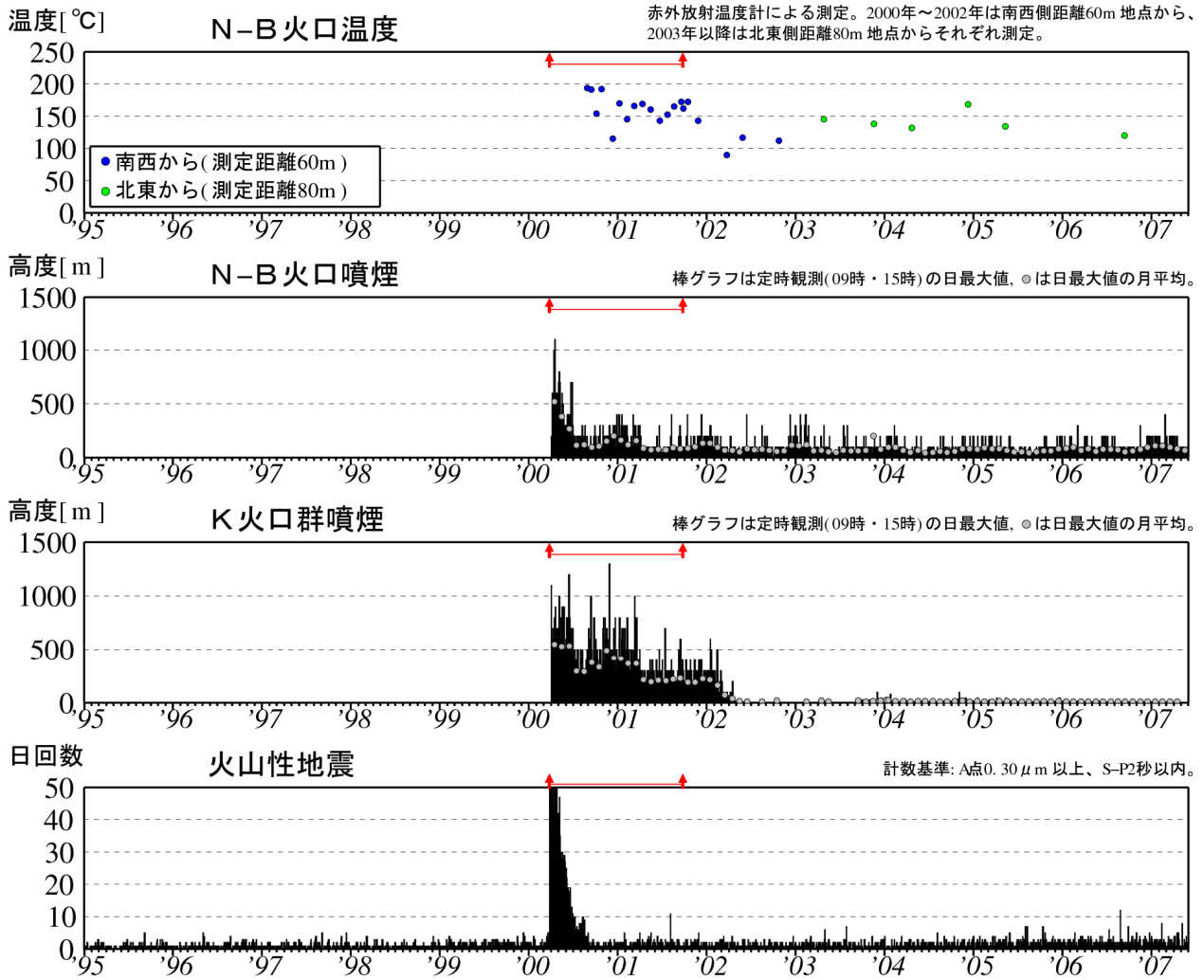


図3 有珠山 最近の火山活動経過図(1995年1月～2007年5月)

↑印で挟まれた期間は2000年噴火活動期

・2000年9月以降、地震回数は1日あたり概ね5回以下で推移しています。

【西山西麓（N）火口群】

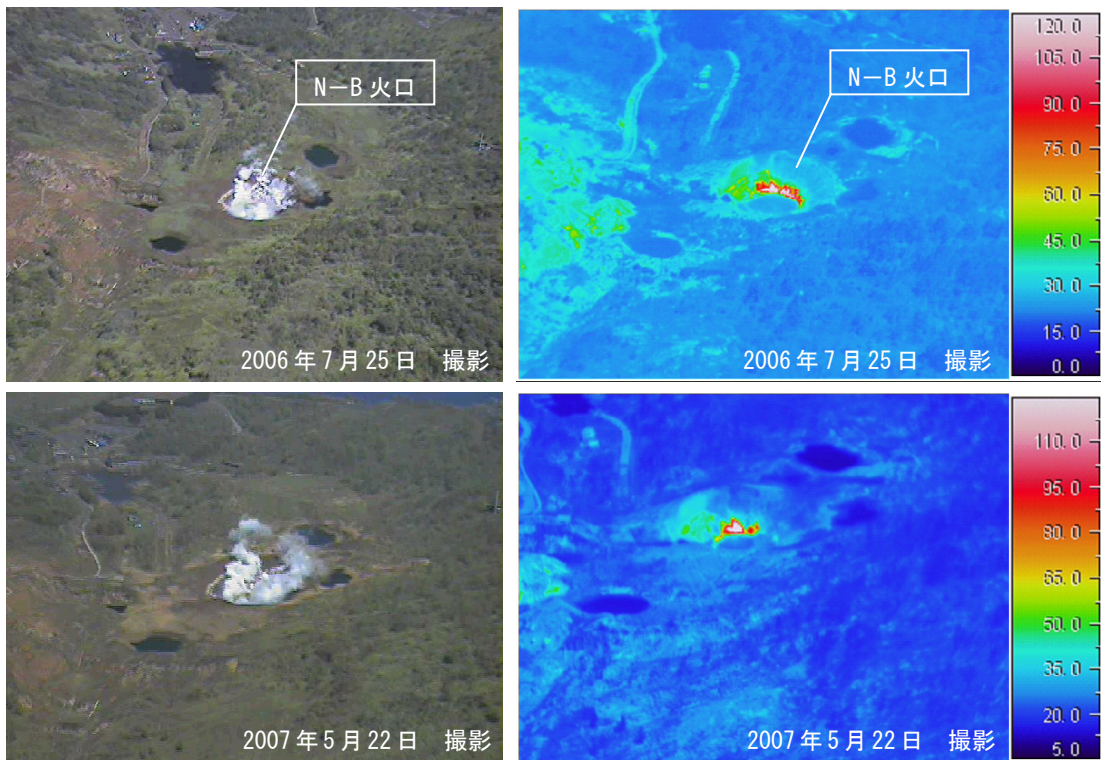


図 4 有珠山 赤外熱映像装置*による N-B 火口周辺の表面温度分布

（上段：2006 年 7 月 25 日、下段：2007 年 5 月 22 日 図 2 ①方向から撮影）

- ・ N-B 火口では、火口底辺縁部から 10～30m 程度の白色噴気が上がっていました。噴出の勢いは弱く、これまでの状況と比べ特に変化は認められませんでした。

【山頂火口原】

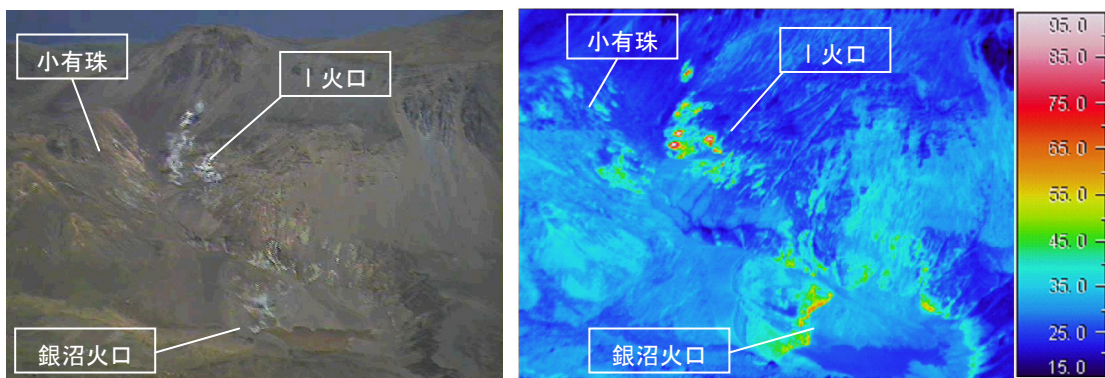


図 5 有珠山 赤外熱映像装置*による山頂火口原の表面温度分布

（2007 年 5 月 22 日、図 2 ②方向から撮影）

- ・ I 火口、小有珠南東麓、銀沼火口からは弱い噴気が 10～30m 程度上がっていました。昨年に比べ、小有珠南東麓の噴煙はやや少なくなりましたが、全体的に噴煙活動に大きな変化は認められませんでした。
- ・ 地熱活動にはこれまでの状況と比べ特に変化は認められませんでした。

【金比羅山（K）火口群】

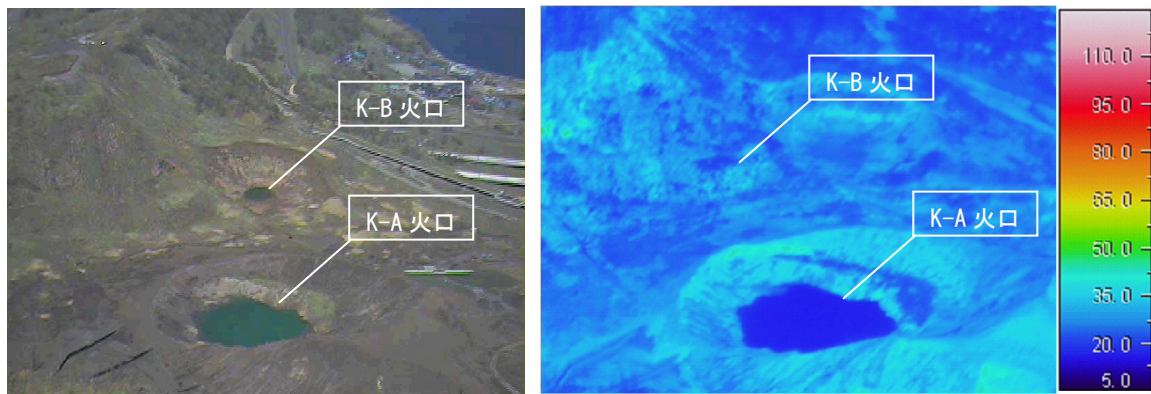


図 6 有珠山 赤外熱映像装置による金比羅山火口群の表面温度分布
(2007 年 5 月 22 日、図 2 ③方向から撮影)

2006 年 9 月 22 日 室蘭地方気象台撮影



2007 年 5 月 22 日 室蘭地方気象台撮影



2006 年 9 月 22 日 室蘭地方気象台撮影



2007 年 5 月 22 日 室蘭地方気象台撮影



図 7 有珠山 金比羅山火口群（K-A 火口と K-B 火口）

上段：西側から撮影した K-A 火口（左：2006 年 9 月 22 日 右：2007 年 5 月 22 日）

下段：東側から撮影した K-B 火口（左：2006 年 9 月 22 日 右：2007 年 5 月 22 日）

- ・ K-A、K-B 火口では噴気は認められませんでした。K-B 火口では、昨年 9 月の観測時に比べ水位低下が認められました。

* 赤外熱映像装置は、物体が放射する赤外線を検知して温度分布を測定する計器です。熱源から離れた場所から測定できる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合があります。

表 1 有珠山 地震・微動の月回数（A点：図8のUSUA）

2006～2007年	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
地震回数	32	35	34	40	34	33	37	40	36	24	37	33
微動回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

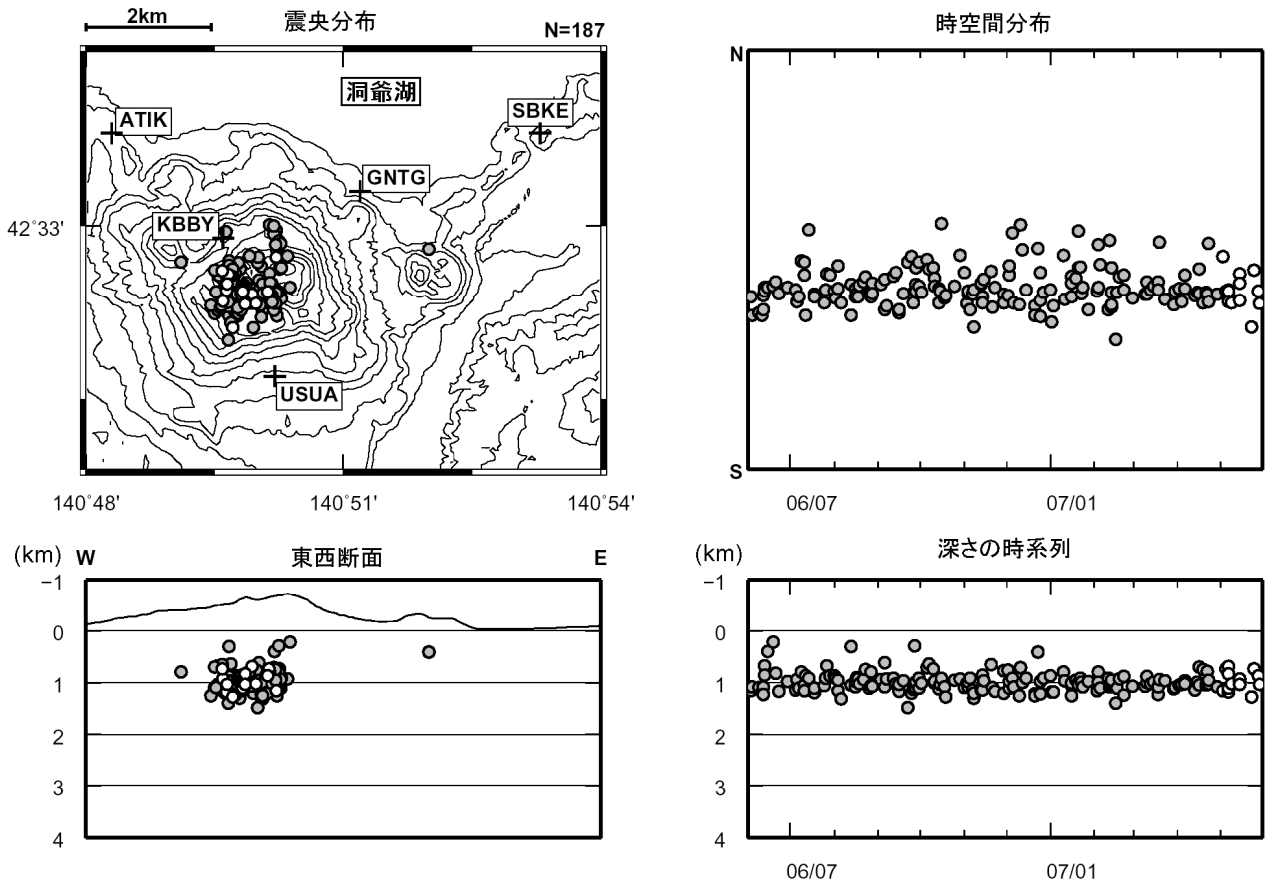


図 8 有珠山の震源分布図（2006年6月1日～2007年5月31日、+は地震観測点）

○印は今期間（2007年5月）の震源

●印は前期間までの11ヶ月間（2006年6月～2007年4月）の震源

- ・前期間までの震源は山頂部直下の浅い所（山頂から深さ1.5km付近）に集中しています。
- ・今期間に求めた震源もこの領域内に分布しています。

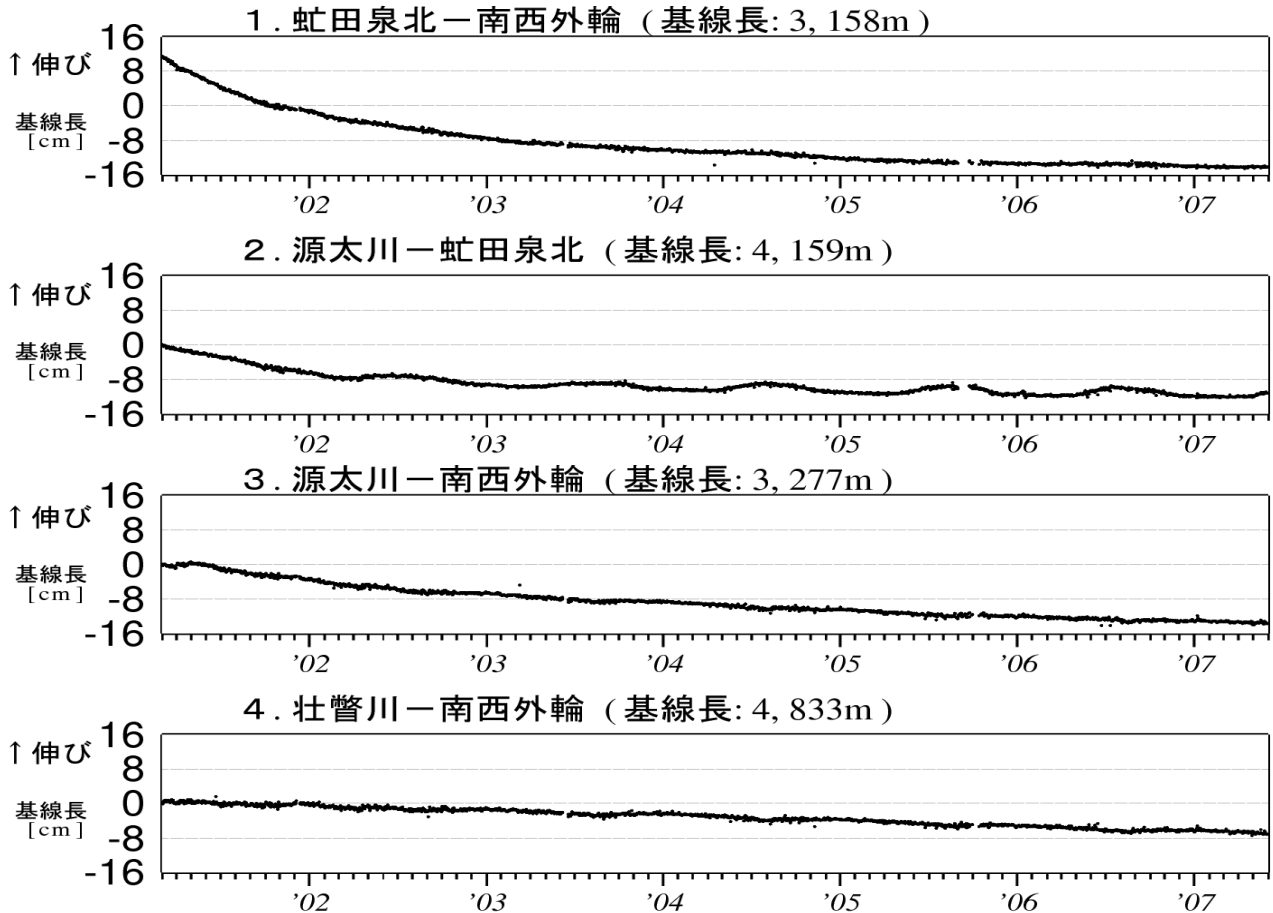


図9 有珠山 GPS 連続観測による基線長変化（2001年3月～2007年5月）
 グラフの空白部分は欠測

図9の1～4は、図10のGPS基線①～④に対応しています。

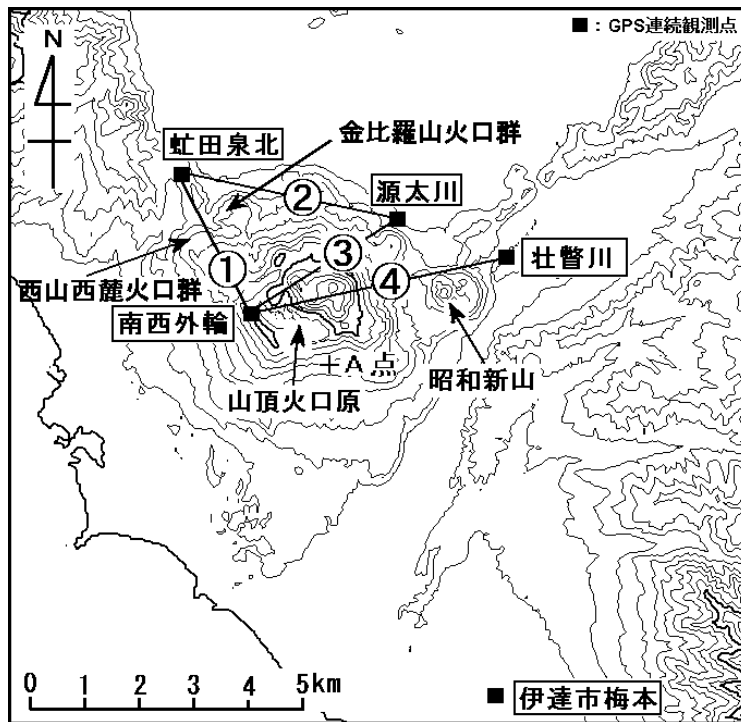


図10 有珠山 GPS 連続観測点配置図